

隣保館だより

第407号

2020年 5月号

発行◎九重町隣保館

大分県玖珠郡九重町大字右田3088-2

TEL: 0973-76-2468 FAX: 0973-76-2446



藤の花

生きる

いま ^い生きていること
この世に ^う生まれて来たこと
^{はは}母に感謝です
^な泣いたり ^{わら}笑ったり おなかもすく
いま ^{さき}先が見えない ^{ふあん}不安な日々
^{たす}みんなで助け合い ^あのりこえる

2020(令和2)年度九重町隣保館運営審議会を開催しました

4月28日(火)に2020(令和2)年度第1回九重町隣保館運営審議会^{注)}を開催しました。

委員の任期は今年度から2年であり、8名の方に委嘱状を交付しました。

九重町隣保館の目的や基本方針、また実施する事業について審議していただき、1年間の事業計画を決定しました。今年は、新型コロナウイルスの感染拡大防止の対策をとりながら運営することとなりますが、よりよい事業運営ができるよう努めていきます。

審議会委員の皆さんを紹介します。これから2年間よろしくお願いします。

^{注)} 九重町隣保館運営審議会…隣保館の円滑な運営を図るため、施設や事業計画の審議を行う会です。

役 職	氏 名	所 属	役 職	氏 名	所 属
会 長	いけべ よしたか 池部 義孝	教育関係機関	委 員	あべ まさのり 阿部 征則	地域住民代表(東飯田)
副会長	まつやま こ 松山 マツ子	部落解放同盟九重支部	委 員	あだち けいこ 足立 恵子	// (南山田)
委 員	ごとう まさのり 後藤 正典	九重町社会福祉協議会	委 員	さとう えみこ 佐藤 恵美子	// (野 上)
委 員	ひの ゆきこ 日野 由紀子	人権擁護委員	委 員	かい ゆりか 甲斐 友理香	// (飯 田)

地域交流事業として今年度2つの新しい事業を実施します

地域交流事業は、様々な活動を通して、町民のみなさんが人権について学ぶ機会があったり、住民同士が交流することを目的としています。また、隣保館にとっても、地域の人を知り、私たち職員を知ってもらうことで、隣保館を身近に感じてもらうことができるよう努力します。

それぞれの事業を紹介します。どちらも、九重町民の皆さんは年齢、性別問わずどなたでも参加できます。

【カラフル・タイム】

開 催 日：奇数月（(7, 9, 11, 1, 3)月）の第4水曜日（送迎はありません）

時 間：9時30分～11時30分

参 加 料：無料（但し、材料費は実費）

募 集 方 法：各開催日前に館だより等で募集する。

申込み方法：電話またはファックスでの申込み

内 容：ボッチャ[※]、卓球バレー[※]、料理教室、塗り絵、方言を語る会等。

※ボッチャ…障がい者スポーツ。1チーム3人以上で専用のボールを投げて遊ぶ。

※卓球バレー…障がい者スポーツ。1チーム6人で卓球台の周りを囲むように座ってプレーする。

【スマイル・カフェ】

開 催 日：偶数月（(6, 8, 10, 12, 2)月）の第4水曜日（送迎はありません）

時 間：10時～14時

参 加 料：100円

申し込みは特に必要ありません。自由参加です。

内 容：参加者同士で、お茶を飲みながら、交流をはかって過ごす。また、人権啓発や消費生活アドバイザーによる相談対応や啓発をしたり、情報交換など行うようにする。

親子で考えよう ～SNS(エス・エヌ・エス)の良いところ・良くないところ～

新型コロナウイルス感染症の影響で、家で過ごす時間が多くなっています。そんな中、スマートフォンやタブレット、パソコンなどでSNSを使う機会や時間が増えているのではないのでしょうか？

確かに、上手に使えると便利で楽しいSNSですが、使い方を誤るとたくさんの危険もあります。特に、最近のように日々の生活が今までと違い、様々なストレスや制限がある状態では自分自身の心身の調整や、家族を含めた他の人とのコミュニケーションが難しくなってしまうこともあるため、ネット上での危険性も高まります。

SNSのよしあしを知って、情報や人とのつきあい方を考えてみてほしいと思います。

メリット(良いところ)

- ・ 気軽な連絡手段になる
- ・ 世界中の人と意思疎通ができる
- ・ 新しい友達を見つけられる
- ・ 趣味の広がりや情報収集に役立つ
- ・ さまざまな人の考えや意見に触れられる
- ・ 自分からの発信の道具になる

デメリット(良くないところ)

- ・ 現実の人間関係がSNSでも続いてしまう
- ・ 書き込みでトラブルが起こることがある
- ・ 個人情報流出
- ・ 悪意のある大人からの誘い出しのリスク
- ・ ゲームの課金や詐欺などの金銭トラブル
- ・ 長時間利用で心身の健康を害することも

友だちとのSNSを使ったコミュニケーションで気をつけてほしいこと

友だちの記事には「いいね」をつけないといけなく、コメントがきたら、すぐに返信しないといけなく。そんな気持ちが強迫観念になり、一晩中「通知」の音が鳴りつづけ、それに対応しているうちに眠る時間もなくなってしまう。そのような問題に悩まされている人も少なくありません。

あくまでもSNSは、友だちとの交流を楽しむための道具です。健康を損なったり、心理的負担が出たりしたときには思い切って「お休みします」と伝えるのも、一つの選択になるでしょう。

ほかにも、プライバシーの侵害、金銭トラブル、災害時のデマ拡散などの危険もありますが、どのように防いだらよいのか親子や友だちと話してみるのも大切なことです。

今日の豆知識

【SNS(エス・エヌ・エス)とは？】

SNSとは「ソーシャル・ネットワーキング(社会的なつながり)サービス」の略で、人と人がつながって情報のやりとりをしたり、メッセージを伝えたりするインターネット上のサービスです。主なものには、Facebook(フェイスブック) Twitter(ツイッター) LINE(ライン) Instagram(インスタグラム) mixi(ミクシー)といったものがあります。



2020（令和2）年度 九重町隣保館 テーマが決まりました

「つながる・広がる・人権の輪」 ～笑顔の花を咲かせよう～

隣保館は人権・部落差別解消の拠点施設であり、福祉の向上や人権啓発を推進するための開かれた福祉センター（コミュニティーセンター）です。九重町隣保館では、毎年テーマを決めています。今年度のメインテーマを「つながる・広がる・人権の輪 ～笑顔の花を咲かせよう～」と決定しました。

外出を自粛し、他人との触れ合いが制限されている今、孤独や不安を感じている人が多くいるのではないのでしょうか。心をつなぎ、思いやりの輪が大きく広がっていくように、そして隣保館を訪れる方々や隣保館事業に携わった皆さんが笑顔に包まれるように、心の豊かさにより結び付く地域社会になるよう事業を実施していきます。

隣保館事業が延期や中止となり、皆さんと会うことができませんが、すこしでも元気ができるように「詩」を皆さんに紹介します。

こころにつぼみが
 だれかにやさしくされたら
 だれかに
 やさしくしたくなる
 こころにつぼみが
 ふくらんで
 パツと
 花がひらく
 たんぽぽみたいね
 「ありがとう」
 つて咲いた花は
 綿毛になり
 また
 だれかのこころに
 とんでいく
 わたしとだれかの
 こころ ころころ
 春にして
 「いま、きみにいのちの詩を」
 詩人52人からのメッセージより

杉本 深由起

◇これからの行事◇

【月・木は人権相談日】

月 日	行 事 名
5月の隣保館主催事業は、新型コロナウイルス感染拡大防止の為、中止させていただきます。（ハッスルシルバースひまわり会卒業式は延期します）	



月 日	行 事 名
6月 1日(月)	編み物教室
6月 2日(火)	パワーアップ教室
6月 4日(木)	ハッスルシルバース(つばき会)
6月 5日(金)	生け花教室
6月11日(木)	飯田ふれあいサロン
6月15日(月)	編み物教室
6月18日(木)	ハッスルシルバース(コスモス会)